



大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成」

文責 河西 美代司

3 すべての人に
健康と福祉を



まだまだ続く 「正しく恐れながら・・・」

『分散登校とオンライン授業』『校内に入る前の2回の検温』『1時間半程度、校内の活動に限る部活動』等々。うんざりという気持ちも無いわけではありませんが、自分の身を、家族や身近な人の身を守るためには、『**正しく恐れ、できる対策を確実に行う**』しかありません。今後も「**今できることを、想像力をはたらかせ**」日々を過ごしていきましょう。



靴も半分登校

分散登校中はオンライン朝の会。半数の人は教室で、残りの半数は各家庭で朝の会を行いました。オンライン組の人とも画面を通じて健康観察もできました。テレビやプロジェクター越しでも、みんなと顔を合わせられることは、やはり嬉しいし大事なことだなあと実感しました。



オンライン朝の会

また、いくつかの教科では対面授業とオンライン授業を並行して行う、ハイブリット授業を試みました。今後、再度感染状況が悪化し、完全なオンライン授業という事態になったとしても、どうか対応できるのではないかという感触を得ることもできました。ただ、6時間（50分授業×6校時）は、集中力・体力、そして効果という点で課題があることも見えてきました。第6波が訪れず、このまま収束に向かって行ってくれることを願わずにはられません。



登校時の健康チェック

夏休み、先生方も、勉強です !!!

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



コロナ禍の夏休み、先生方は「小中一貫教育」や「ICT教育」について研修しました。小学生が不安や心配をなくし、大きな期待と希望を胸に若中に入学して来られるようにしたい。若草の子ども達が若草・南アルプス市を愛し、誇りに思えるようになって欲しい。そして、世界に羽ばたく人も出てきて欲しい。等々、先生たちも夢を持ちながら勉強し、実践をしています。

何気なく指導しているよう（苦しんでいることがばれているかも・・・）に見えるタブレット操作も、先生方は必至で準備をしています。でもね、**研修している真剣な姿、目の輝きは生徒の皆さんと全く同じです。**



一人でも、外でも行動できるカ→実力(じつりょく)

「落ちていたから拾いました」



夏休み、ブドウ畑の前で軽トラを止め、ドアを開けようとルームミラーを見ました。30mほど後ろから走ってきた若中生の自転車が止まり、何か拾っています。それをかごに入れるとこちらに進んできます。軽トラの横に差し掛かったところで声を掛けました。

「大丈夫？落としちゃったの？」<自転車の前のかごを見ると空の汚れたペットボトルが入っています>

「ここに落ちてたから拾いました」<普通でしょ！という表情>

「すごいねー」<なかなかできないことだと思ふのと同時に、そこを通りすぎた自分の恥ずかしさ>

「SDGsに取り組んでいますから」<さりげなく拾い、当たり前のことと思っている様子>

「ありがとうね。部活頑張れ、絶対に上手くなるよ！」<自分が拾ってないのに何だか爽やか>

『こんにちは、お疲れ様です』 草っこは小学生も立派です！

先日、とはいっても田植えをしていた頃なので6月の始めの休日。苗を田植え機に乗せていると、横の道路を走ってきた、小学校高学年くらいの男の子が「こんにちは、お疲れ様です！」と汗を光らせた笑顔で声を掛けてくれます。私も「ありがとう。昨日の夕方も走ってたね」と返すと、「はい、陸上の練習です」と、更に、い〜い笑顔で返してくれます。一生懸命走っている姿はこれまでも何回か目にしていました。よせばいいのに、その後に「おじさんはね、若草中の校長先生だよ。早く若中に来てね、待ってるよ！」という、「はい、早く若中に行つて、バスケと勉強を頑張りたいです！！」とまたまた嬉しいことを言ってくれました。若中生が、

「小学校は良かったなあ、楽しかったなあ、〇〇を頑張ったぞ」と。南小と若小の児童が、「早く中学生になりたいなあ、あんな中学生になりたいなあ」と希望や憧れを抱くような3校をつくっていきたいと、喜びややりがいとともに責任の重さも実感した出来事でした。

左は、15日の山日新聞「ひとこと」欄の記事です。きっと、普段から当たり前に行っているんだろうなあと思うと同時に、生徒会の取組（あいさつ運動）の成果でもあるのだと思います。素晴らしい！！

『頂へ！誇れやわれら』



あいさつ運動実施中！



さわやかなあいさつ

深田真智子（甲府市下曽根町、68歳）

8月の暑い中、実家の畑の草取りをしていると、部活帰りの若草中の女子生徒から「こんにちはー」とあいさつをもらった。「気をつけて帰るんだよー」と返すと、「草取り頑張ってくださいー」と大きな声で返してくれた。とてもさわやかで大きな声。暑さも吹き飛んでしまうくらいうれしかった。な

コロナで暗い世の中、こうした若い子の元気の良い、はつらつとした声に勇気と明るさをもたらせるのは、私だけではない。誰もがうれいものだ。これからも行き交う人に元気な声を掛けてほしいと願います。

【生徒数配布】 カラー版は若中HPにアップしています